

令和6年度第3回4機構公共工事入札監視委員会 議事概要

開催日等	令和6年11月22日（金） 10：00～12：00 ヒューリック神谷町ビル2階 人間文化研究機構会議室 （オンサイト・Web会議形式（Zoom）併用）	
委員	委員長 竹内 啓博（公認会計士） 委員 溝内 健介（弁護士） 委員 鈴木 正一（国立大学法人東京科学大学施設部担当部長）	
幹事機関	大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構	
審議対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日	
審議対象抽出案件	5件	（備考） 抽出案件の個別審議については、次頁のとおりである。 対象案件の審議は次頁に示したとおり、各発注機関の担当者から説明を行い、質問等への回答を行った。
建設工事	4件	
一般競争入札 （政府調達に関する協定対象工事）	0件	
一般競争入札 （上記を除く）	3件	
工事希望型競争入札	0件	
通常指名競争入札	0件	
随意契約	1件	
設計・コンサルティング業務	1件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	別紙のとおり
	回答等	
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	特になし	

建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件

番号	機 関 名 (発注部局)	建設工事及び設計・コンサルティング業務 の名称
1	人間文化研究機構 (国立民族学博物館本館)	(万博記念公園) 国立民族学博物館本館 1 階空調 設備(RS-101)冷媒漏れ修繕
2	自然科学研究機構 (岡崎統合事務センター)	(山手) 山手 1 号館 A 東撤去工事
3	高エネルギー加速器研究機構 (本部)	量子場計測システム国際拠点棟新営その他電気 設備工事
4	情報・システム研究機構 (国立遺伝学研究所)	(谷田(遺伝研)) 研究実験 J 棟等防水改修工事
5	高エネルギー加速器研究機構 (本部)	(東海) 共同研究拠点・実験機器開発棟新営工事 監理業務

意見・質問	回答
議題１：４機構において発注を行った建設工事について ・特になし	—
議題２：４機構において発注を行った設計・コンサルティング業務について ・特になし	—
議題３：随意契約（不落随契を除く）について ・特になし	—
議題４：指名停止等の措置状況について ・特になし	—
議題５：審議対象建設工事及び設計・コンサルティング業務の抽出結果について ・特になし	—
議題６：建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議について	
１．人間文化研究機構（国立民族学博物館本館） （万博記念公園）国立民族学博物館本館１階 空調設備(RS-101)冷媒漏れ修繕 【少額でない随意契約】 ・他に対応できる業者がないための随意契約とのことだが、予定価格をどう決めたか。実勢価格の目安は。（鈴木委員） ・空調（コンプレッサー）はいつから使っているものか。冷媒漏れは初めてか。（鈴木委員） ・見積段階で内訳を精査しているか。（竹内委員） ・随意契約においての価格妥当性を評価するため、実績をデータベース化する必要があるのではないか。（竹内委員）	・予定価格は随意契約相手の業者からの参考見積をもとに作成した。他の業者への意見聴取も別途行ったが見積などの対応ができないとのことであった。機構の予算内に納まっている価格であったため採用した。 ・２００１年製で２３年使っている。冷媒漏れは今回が初めてであった。 ・単価、修理の金額は見積段階で確認している。また、工事の履行確認も問題がないことを確認した。

2. 自然科学研究機構（岡崎統合事務センター）

（山手）山手1号館A東撤去工事

【低落札率】

・最低価格落札方式でなく総合評価落札方式とした理由は。（竹内委員）

・落札率が30%程度と低いが、本来であればいくらだったか業者に確認しているか、また、その旨の入札事情説明書等は提出してもらったか。（鈴木委員）

・今後は建物内部の撤去工事については解体工事とするのか。（鈴木委員）

・この業者は解体工事の資格もあるため、解体工事の単価を使うことができたのか。（鈴木委員）

・建築一式と解体工事とで予定価格の立て方に違いがなぜ生じるのか。（竹内委員）

・業者の積算の仕方が相当割安になるものであり、機構において業者と同様の積算の仕方は難しいということか。（竹内委員）

・予定価格が1億を超える工事であり、単なる撤去工事ではなかったことから総合評価落札方式実績評価型を採用した。

・当該書類は提出してもらっておらず 低入札価格調査のヒアリングにおいて確認している。

本工事は建物内装のみの撤去工事であることから、建築一式工事として積算しているが、落札業者は建築一式工事の資格を持つものの解体工事業をメインで行っており、業者の見積においては解体工事における平米単価に基づいて積算しており、機構側の金額に比べて低廉になったものと考えられる。

・他の公共工事における同様の撤去工事を施工しており、価格にも問題ないことを確認し、発注に至ったものである。

・今回は、建物の外側は残し、隣接建物への騒音対策も必要な工事であり単なる解体工事でないことから建築一式工事が妥当と考えるが、工事内容によっては解体工事とすることもありうる。

・ご見解のとおりである。

・機構においては、建築一式工事の文部科学省の基準や参考見積を基に積算している。業者においては、建設物価指数の解体工事の平米単価に基づいて積算しているとのことであった。

・ご見解のとおりである。

・熊本の業者なのか。静岡に営業所等があるのか。（竹内委員）	・熊本が本社だが、東海地区の名古屋に営業所があることを確認している。
3. 高エネルギー加速器研究機構（本部） 量子場計測システム国際拠点棟新営その他 電気設備工事 【一者応札】 ・不落による再度公告とのことだが、最初の入札はどうだったか。（鈴木委員） ・再度公告において、予定価格を見直した（高くした）のか。（鈴木委員） ・再度公告において仕様は変更したか。変更したのはいつか。（竹内委員） ・不落随契時の初度見積で2回目の入札額から大幅に下がっているのは企業努力の結果か。（竹内委員）	・当初入札では、再度公告時に参加した業者が1者、別の業者が1者の計2者の参加であったが、不落随契の協議が整わず不落となった。 ・見直している。 ・再度公告を出す際に仕様を変更している。 ・ご見解のとおりである。
4. 情報・システム研究機構（国立遺伝学研究所） （谷田（遺伝研））研究実験棟等防水改修工事 【低入札者多数】 ・低入札価格調査の概要を教えてほしい。（竹内委員） ・低入札価格調査の概要が配付資料にないが、作成しているということで相違ないか。（竹内委員）	・1位の業者に低入札価格調査を行ったところ、自社の社員を用いること等により人件費が安くなることや、周辺に手持ち工事があることにより、経費削減となっているため、価格が安くなったとのことであった。 ・作成している。
5. 高エネルギー加速器研究機構 （東海）共同研究拠点・実験機器開発棟新営 工事監理業務 【一者応募】	

・再度公告とのことだが、本体工事は始まっているのではないか。その場合、工事を止めていたのか。また、業務期間や積算はその期間分を見直して予定価格をたてているのか。（鈴木委員） ・監理業務の業者が決まっていなくても、工事の施工には問題ないか。（竹内委員）	・本体工事は先に契約されていたが、本業務の相手方が決まるまでは機構職員で対応していた。また、再公告期間は現場作業に着手する前であったため問題はない。再公告にあたって、予定価格を算出する上で業務期間分の経費は見直している。 ・工事監理業務は機構職員が工事監督する業務の一部を外注するものであるため、決まっていなくても工事の施工には問題ない。
その他 ・特になし	—
【抽出案件の審議結果】 ・各審議において、委員として確認したい事項を確認できたことから、特段問題となる事項はなかった。	
議題 7：その他 ・特に意見なし ・委員からの事前質問についての説明 人間文化研究機構（国立民族学博物館） （万博記念公園）国立民族学博物館本館特別 収蔵庫 B 空調改修工事 【低入札者多数、3 位の業者と契約】	— ・3 位の業者と契約した経緯については、上位 2 者に対して低入札価格調査を行ったところ、両者から積算の誤りによる辞退の申し出があったものである。両者には文科省より指名停止の措置がなされた。（資料 4 41，42 参照）

注）令和 6 年度第 1 回及び第 2 回の 4 機構公共工事入札監視委員会は高エネルギー加速器研究機構の事案に係る臨時開催のため、高エネルギー加速器研究機構以外での議事概要公表は行わない